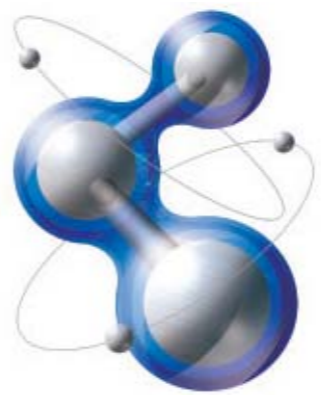


記念シンポジウム

# 「モノづくり日本」 未来への一歩



モノづくり日本会議

—モノづくり推進会議 NextStage—

## 危機打開へ英知結集

モノづくり日本会議は2011年12月21日、東京・水天宮のロイヤルパークホテルで通常総会と記念シンポジウム「モノづくり日本」未来への一歩を開いた。総会では2010年度(10年10月11年9月)の活動・収支報告と11年度(11年10月12年9月)の事業計画・予算を決議し、各議案は満場一致で可決された。記念シンポジウムでは白石真澄関西大学政策創造学部教授と吉野彰旭化成フェローがそれぞれ講演。会場には会員を中心に聴講者約300人が訪れた。

### 通常総会開く



共同議長 あいさつ

日立製作所相談役  
庄山悦彦氏

2011年は、モノづくりの原点に返って考え直さなければならぬと感じることが多い年だった。想像を絶する東日本大震災、またタイでの水害などもあり、サプライチェーンの問題もクローズアップされた。ここでさらなる進歩を目指して

### 諸問題乗り越え さらなる進歩を



「新産業創出検討会」「ロボット・自動化検討会」などを立ち上げる計画で、会員企業参加型の検討会・研究会を拡充する。総会ではモノづくり日本会議共同議長の庄山悦彦日立製作所相談役が議長を務め、日本のモノづくりに海外も注目している。横のつながりで日本を盛り上げていこうと呼びかけた。

競争力強化へ。同会議は2007年に発足し、全国から約1900社・団体が参加。過去4年間に「ロボット」「ハイテク」「人財育成」「感性価値」をテーマにした研究開発プロジェクトを推進してきた。今回はモノづくり産業のグローバル競争力の強化や新産業・新ビジネスの創出に

つながる新たな事業計画が承認された。若年層向けモノづくり魅力発信事業、顕彰事業などさまざまなプログラムを展開してきた。今回はモノづくり産業のグローバル競争力の強化や新産業・新ビジネスの創出に

### 基調講演

#### 「日本のモノづくり— 伝統・知恵・技術を世界に発信」



関西大学政策創造学部教授

白石 真澄氏

いま日本は円高で、またマーケットが縮小し、アタラシく国に比べて高い法。アジア諸国の追い上げもある。モノづくりの発展に、人財育成、税制、税率の中で手足を縛られたような状況でモノづくりを企業だけが頑張るだけでは、その企業をくりに携わらなければならぬ。人口減少で国内市場が縮小している。国内活性化へ政策の後押しが必要

### 国内活性化へ政策の後押しが必要

国内でモノづくりをして、単独では戦えない。空洞化による真の側面ばかりで、高品質なモノづくりは、国内の輸出に頼るだけでは、アジアでいかにもうけ国内に還元させるかというところも考えていく必要がある。グローバルでモノづくりの未来を真剣に考えていく時期がきている。

#### 旭化成フェロー 吉野 彰氏



リチウムイオン電池のマーケットが立ち上がったのは1995年で、振り返ると日本にとっても世界にとっても95年は非常に大きな年だった。リチウムイオン電池の現在までのマーケットはIT機器の電源など小型民生用だったが、いま電気自動車(EV)や蓄電システムとして、大型がスタートを切った。携帯電話やノートパソコン向けなどは小型軽量が大きなマーケットに広がったが、中・大型の場合にはほかの電池に比べて圧倒的に高いエネルギー変換効率(充放電効率)と低自己放電率が大きな特性になる。

### 技術変化が大きなチャンスに

リチウムイオン電池の市場は、EVをターゲットにした研究開発に、数年前から基礎研究、開発研究、事業研究と足かけ15年かかった。リチウムイオン電池の市場は、EVをターゲットにした研究開発に、数年前から基礎研究、開発研究、事業研究と足かけ15年かかった。リチウムイオン電池の市場は、EVをターゲットにした研究開発に、数年前から基礎研究、開発研究、事業研究と足かけ15年かかった。

### 特別講演

#### 「リチウムイオン電池の 開発経緯と将来展望」

リチウムイオン電池の市場は、EVをターゲットにした研究開発に、数年前から基礎研究、開発研究、事業研究と足かけ15年かかった。リチウムイオン電池の市場は、EVをターゲットにした研究開発に、数年前から基礎研究、開発研究、事業研究と足かけ15年かかった。

モノづくり日本会議

MONODZUKURI

## “超”モノづくり

- モノづくり企業の英知を結集し、
- 将来にわたり発展できる盤石な産業基盤を築き上げる。
- 広域企業ネットワークが触媒となり、
- 人口・環境・資源の制約を乗り越え、
- “超”モノづくりを推進する。

## モノづくり日本会議

—モノづくり推進会議 NextStage—

